

最初にお読み下さい

# MeterWare™ for Windows® 95/NT

## リリースノート

この度は、MeterWare for Windows 95/NT をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

### サポート対象エージェント

アライドテレシス社製 RMON エージェント

### 機能サポート範囲

弊社として正式サポートする機能は下記の通りです。

サポート対象外の機能は、弊社のユーザーサポートの対象になりませんので、お客様の責任においてご使用ください。

#### サポート対象外

RMON2

MIB Compiler

#### 制限付サポート

プロトコルデコード(TCP/IP プロトコルのみサポートします。)

MIB Poller(ユーザーによる MIB のポーリング定義ファイル以外はサポートします。)

### 制限事項

#### [ TopN Window ]

「Network Map」ウィンドウの [ Edit ] メニューから [ Edit Device ] を選択する(もしくは、デバイスのアイコンをダブルクリックする)と「Information」ウィンドウが表示されます。[ RMON ] タブの [ TopN ] ボタンをクリックすると「TopN」ウィンドウが表示されますが、弊社 AT-RMON を管理対象としている場合、[ View ] メニューの [ Pie ] で表示されるグラフ、および [ Table ] で表示される統計情報の値が、指定されているポーリング間隔で正しく更新されません。

#### [ MIB Poller ]

「Network Map」ウィンドウの [ Tools ] メニューから [ MIB Poller ] を選択して表示される「MIB Poller」ウィンドウでは、[ MIB Poller ] メニュー - [ Add Session ] で、セッションを追加しても、指定した MIB が正しくポーリングされない場合があります。

セッションの追加は、「Network Map」ウィンドウの [ Tools ] メニューから [ Reporting ] を選択して、「MeterWare Reporting System」ウィンドウから行ってください。[ View Sessions ] ボタンをクリックすると「MIB Poller」ウィンドウが表示されます。

### [ Device Name ]

デバイスを追加した場合、「Information」ウィンドウの [ Information ] タブ内 [ Device Name ] 欄には、MIB II の sysName オブジェクトの内容、または ( sysName オブジェクトの内容が設定されていない場合 ) デバイスのホスト名が表示されます。それらが32文字以上の場合、画面に表示される各機能のウィンドウタイトルに不要な文字列が表示されたり、「Information」ウィンドウの [ Template ] タブ内 [ View ] ボタンを選択すると MeterWare が強制終了したり、Alarm 機能の設定ができなくなる場合があります。

デバイスを追加する場合は、31文字以下のデバイス名を使用してください。また、RMON Discoveryの結果、32文字以上のデバイス名が使用された場合は、「Information」ウィンドウの [ Information ] タブ内 [ Device Name ] 欄で、デバイス名を修正してください。

### [ Polling Interval ]

「Information」ウィンドウの [ Information ] タブで [ Quick View ] ボタンをクリックすると「Quick View」ウィンドウが表示されます。RMONをサポートしていないSNMPエージェントの場合、「Polling」メニューの [ Sampling Interval ] を選択する、またはツールバー左から3つめの時計アイコン ( Change polling interval ) をクリックして行うポーリング間隔の設定がグラフに反映されず、常に6秒間隔でポーリングされます。

### [ Device Log ]

[ Monitor ] メニューから [ Log ] を選択して表示される「Device Log」ウィンドウで、SNMP-Trapパケットを受信した場合、SNMP Trapパケット送出ノードのデバイス名が32文字以上で、Trapメッセージが [ Long ] タイプに設定されていると、MeterWare for Windows 95/NT が強制終了してしまふことがあります。

この場合は、管理対象機器のデバイス名を31文字以下に設定するか、次の手順で「Device Log」ウィンドウに表示される Trap メッセージを [ Short ] タイプに設定してください。

1. [ Configuration ] メニューから [ Log Parameters ] を選択し、「Log Parameters」ウィンドウを表示します。
2. [ Log SNMP Trap Messages ] 欄の [ Short ] ラジオボタンをクリックし、[ OK ] ボタンをクリックします。

「Device Log」ウィンドウに表示される Trap メッセージは、coldStart trap を受信した場合、warmStart trap と表示されます。また、warmStart trap を受信した場合は、coldStart trap と表示されます。

### [ RMON Discovery ]

「Network Map」ウィンドウの [ Configuration ] メニューから [ RMON Discovery ] を選択して表示される「RMON Discovery」ウィンドウで、[ Configuration ] タブ内の [ Seed Addresses ] 欄に弊社CentreCOM 8208を指定すると、RMONデバイスの自動探索を行うことができません。

### [ RMON/Capture ]

「Information」ウィンドウの [ RMON ] タブで [ Capture ] ボタンをクリックすると、「Capture/Filter」ウィンドウが表示されます。[ Channel ] タブで、[ Edit ] ボタンをクリックすると「Edit Channel」ウィンドウが表示されますが、[ Pakets ] の欄で [ Download Slice Size ] を1300 byte以上に設定した場合、1300 byte以上の大きなパケットを Buffer からダウンロードすることはできません。

「Capture/Filter」ウィンドウの[ Channel ]タブで、弊社AT-RMONを管理対象としている場合、[ Edit ]ボタンをクリックすると表示される「Edit Channel」ウィンドウの[ Action on Full Buffer ]欄で[ Lock ]に設定しても、Bufferが一杯の時に、キャプチャしたパケットが先頭から上書きされます。

「Capture/Filter」ウィンドウの[ Buffer ]タブで、TCP/IPのRIPプロトコルのパケットのデコードが正しく行われません。

「Capture/Filter」ウィンドウの[ Buffer ]タブで、TCP/IPのDNSプロトコルのパケットのデコードが正しく行われません。

「Capture/Filter」ウィンドウの[ Buffer ]タブで、TCP/IPのHTTPプロトコルのパケットのデコードが正しく行われません。

「Capture/Filter」ウィンドウの[ Buffer ]タブで、TCP/IPのBOOTPプロトコルのパケットのデコードのClient Hardware Addressのデコード結果が正しくありません。

「Capture/Filter」ウィンドウの[ Analyze ]タブで、[ File ]メニューから[ Open ]を選択し、pstファイル(MWARE PostFilters/\*.pst)のある「ファイルの場所」を指定しても、pstファイルが一覧に表示されません。この場合は、「ファイル名」欄に、pstファイル名を入力し、[ 開く ]ボタンをクリックしてください。指定したファイルを読み込むことができます。

#### [ RMON/Event ]

「Information」ウィンドウの[ RMON ]タブで[ Event ]ボタンをクリックすると「Event Control Table」ウィンドウが表示されます。[ Add ]ボタン、または[ Modify ]ボタンをクリックして表示される「Add Event」・「Edit Event」ウィンドウの[ Event Type ]欄で、[ Log ]ラジオボタンを選択しても、Logエントリが[ Log Table for Event Index ]に表示されません。EventのLogを記録する場合は、[ Event Type ]欄で、[ Log & Trap ]ラジオボタンを選択してください。

#### [ RMON/Matrix ]

「Information」ウィンドウの[ RMON ]タブで[ Matrix ]ボタンをクリックすると「RMON Matrix」ウィンドウが表示されます。「Data」メニューから[ Pattern Match... ]を選択して、表示される「Address Pattern Match」ウィンドウ中央の矢印(ラジオボタンの右側)が、日本語Windowsのシステムフォントサイズの関係から正しく表示されません。

「Address Pattern Match」ウィンドウの各ラジオボタンは次のような意味を持ちます。

最上段	Address Pattern 1が送信元アドレスでAddress Pattern 2が送信先アドレスです。
中央段	Address Pattern 1が送信先アドレスでAddress Pattern 2が送信元アドレスです。
最下段	Address Pattern 1とAddress Pattern 2をそれぞれ送信先アドレス、または送信元アドレスと解釈します。

「RMON Matrix」ウィンドウで表示されるステータス表示( St )の黄色のインジケータは、ポーリングの間にデバイス間で通信が行われなかったと、1度目に判断されたときに表示されます。オンラインヘルプ([ Help ]メニューから[ On this Screen ]を選択して表示される「RMON Matrix Table」の項目 )には、黄色のインジケータはTrapを受信したときに表示されるとありますが、誤りです。

赤色のインジケータは、ポーリングの間にデバイス間で通信が行われなかったと、2度目に判断されたときに表示されます。

#### [ RMON/Quick Alarm ]

「Network Map」ウィンドウ [ Monitor ]メニューから [ Alarms ]を選択すると、「Quick Alarm」ウィンドウが表示されます。 [ Trap ]欄で [ Continuous ]ラジオボタンを選択し、 [ Network Util% ]の設定を行い( [ Value ]欄に値を入力 チェックボックスをクリック [ OK ] ボタンをクリック ) 再度「Quick Alarm」ウィンドウで、 [ Network Util% ]の設定を変更する場合は、必ず [ Value ]欄の値を入力し直してください。

チェックボックスによる設定のみですと、設定が無効となる場合があります。

以上